

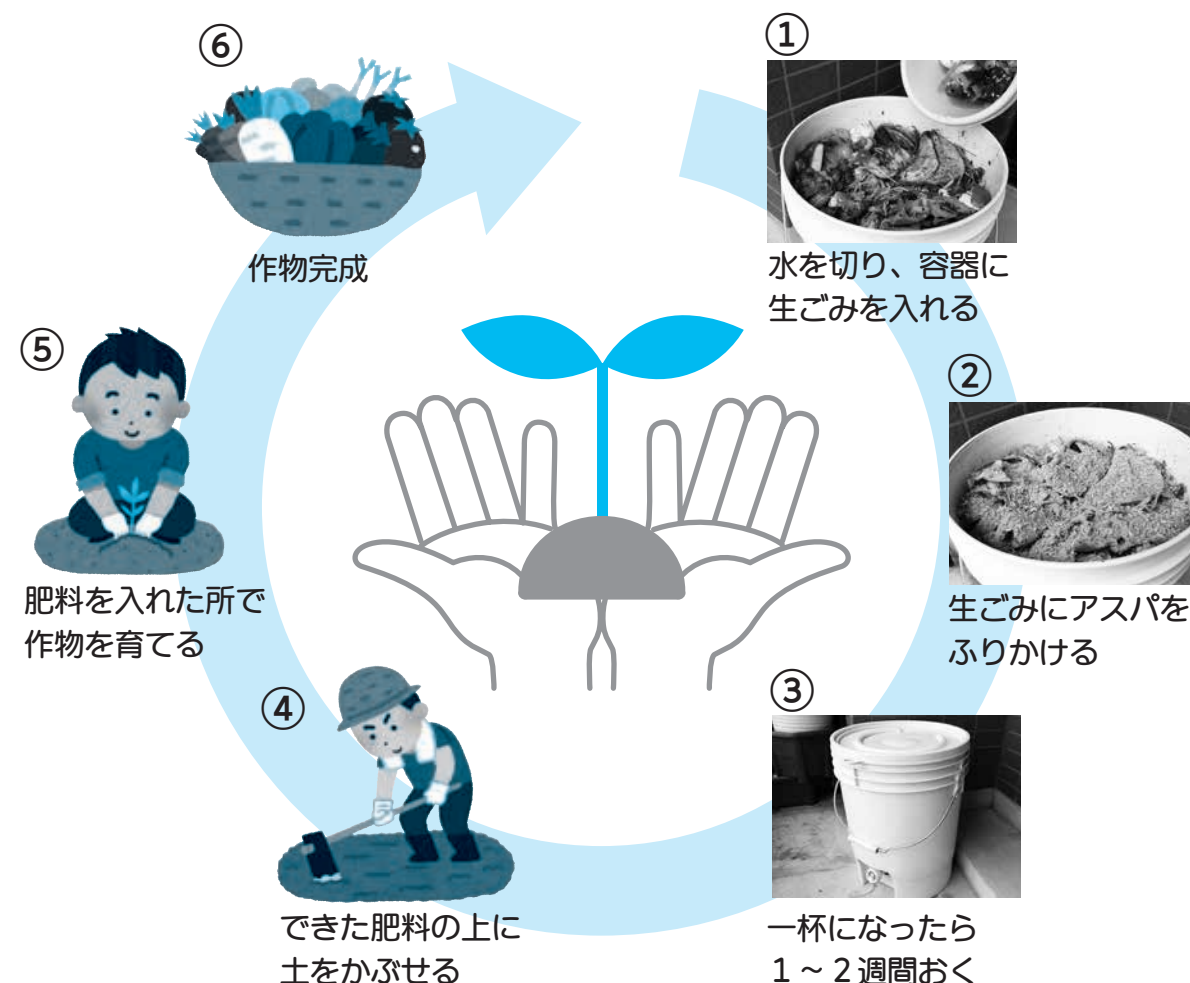
STEP 3 生ごみを肥料にしてみましょう

肥料にすると生ごみは、資源になり、生ごみは“0”になります。

下図は生ごみ密封処理容器で肥料を作る方法です。



リサイクルリン



町では、コンポスト、生ごみ密封処理容器、生ごみ処理機の購入に補助金を交付しています。インターネットからの購入や、コンポストの故障による買い替えも補助対象になる場合があります。詳しくは役場環境課へご相談ください。

アスパの無料配布をしています

役場環境課、富貴支所で1人2袋まで「アスパ」を無料配布しています。「アスパ」は生ごみを発酵させ、有機肥料にすることができます。

3袋以上必要な人は、第1・第3水曜日に中央公民館で開催しているアスパづくりにご参加ください。



今年の夏は生ごみ減量!

もやさなければならないごみの約1/4が生ごみで、生ごみは70～80%が水分と言われています。

特に、においも気になるこの時期、生ごみ減量に挑戦してみませんか?

たけとよ
エコだより

▶問合せ 役場環境課

STEP 1 水切りを徹底しましょう

生ごみの水分は、においや腐敗の主な原因です。水切りをすることで生ごみの嫌なにおいも軽減できます。

○野菜の外側の葉や根っこ等は水にぬらさず、ごみ箱へ水に触れると水分を含みごみの量は増えてしまいます。野菜くずはできるだけ水に触れさせないことが重要です。

○捨てる前に水分を、もうひとしぼり!
排水口や三角コーナーの生ごみは捨てる前に水を絞りましょう。

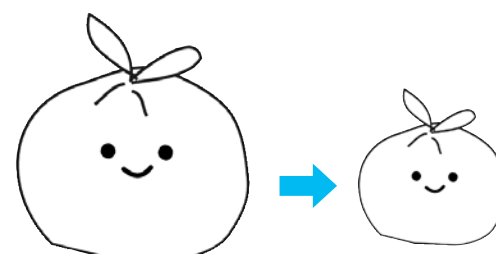
水切り用の道具で手の汚れを少なくできます



引っ張って絞る



上から押して絞る



水キリで生ごみにもおいもすっキリ

1kgの生ごみは、水切りだけで50g～100gほど軽くすることができます。この場合、年間で5kg～10kgの生ごみを減量できます。

STEP 2 乾燥に挑戦してみましょう

野菜くず等はごみ箱に入れる前に乾燥させると、生ごみの量をさらに軽く小さくすることができます。



捨てる前に一晩放置するだけでかなり水分は抜けます。



かめじい